

第96回 病態生化学セミナー

日時：平成27年11月27日（金曜日）午後6時00分～

場所：医学部講義棟1階 国際交流ラウンジ

演題：白血病の診断・治療における形態学と遺伝子診断

Morphology and genetic analysis in the diagnosis and therapy for leukemia

演者：清井 仁 先生

名古屋大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学 教授

白血病の診断と分類は形態学的特徴に基づく FAB 分類が長年にわたり汎用されてきた。しかし、分子生物学的な細胞解析技術の進歩により、白血病の発症・進展に關与する多くの分子異常が明らかにされ、白血病の WHO 分類においても多くの遺伝子変異が診断基準に盛り込まれてきている。白血病に代表される造血器腫瘍は、比較的容易に腫瘍細胞を採取することが可能であることもあり、分子病態に基づく診断基準、予後層別化、標的治療薬をはじめとする個別化治療への実用化が最も進んでいる。しかし、一方で、遺伝子変異の獲得状態においては複数の腫瘍細胞クローンが存在することや、腫瘍発症前の Background/initiation 変異獲得クローンが存在することなど、分子病態のみに依存する臨床的診断の問題点も明らかになってきている。本セミナーでは白血病の診断・治療における遺伝子検査の有用性を提示するとともに、実臨床における形態学的診断と遺伝子診断を融合させた効率的な運用の必要性について概説する。【清井 仁】

連絡先：

浦野 健

島根大学 医学部 病態生化学

TEL 0853-20-2126

E-mail turano@med.shimane-u.ac.jp